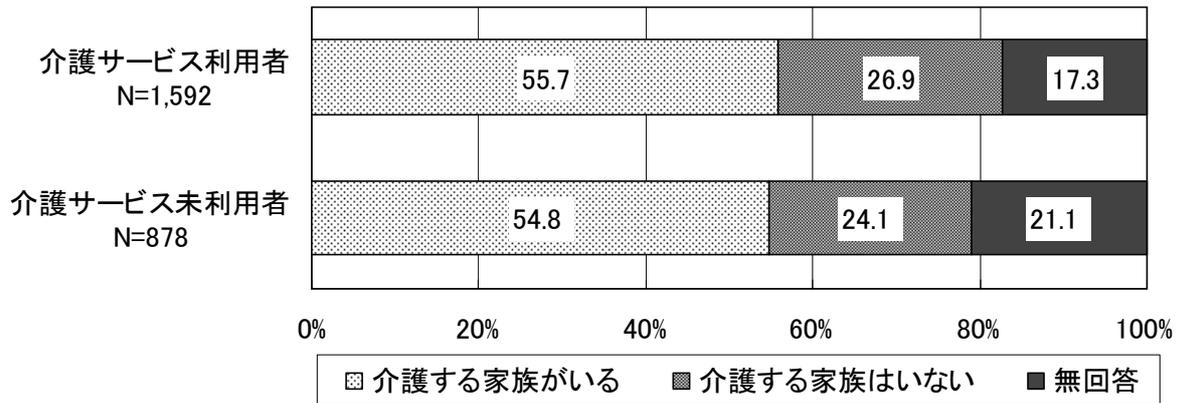


## 12. 家族介護者の状況

### (1) 家族介護者の有無

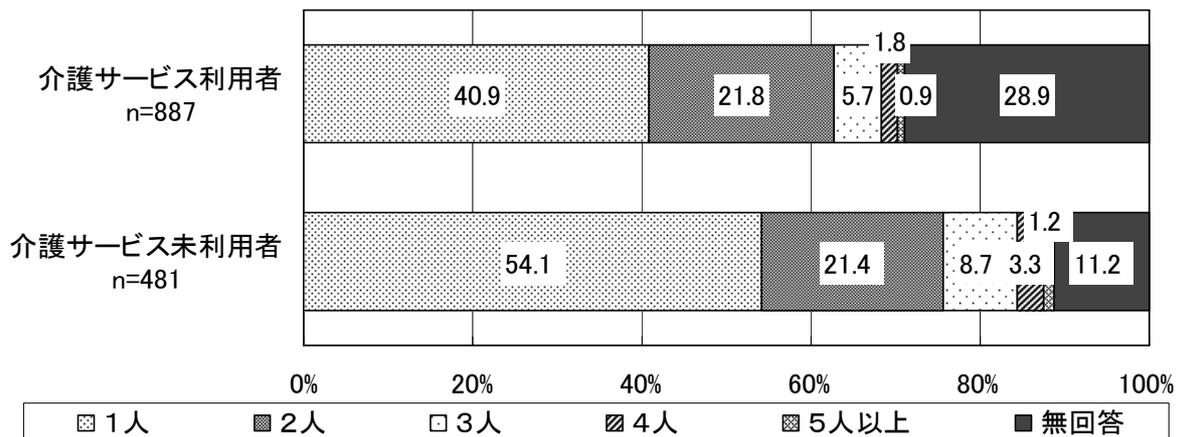
ア. 家族介護者の有無をみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者とも「介護する家族がいる」が5割強、「介護する家族はいない」が2割強となっている。



図表 108 家族介護者の有無 (単数回答)

### (2) 家族介護者の人数

ア. 家族介護者の人数をみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「1人」が最も多くなっている。

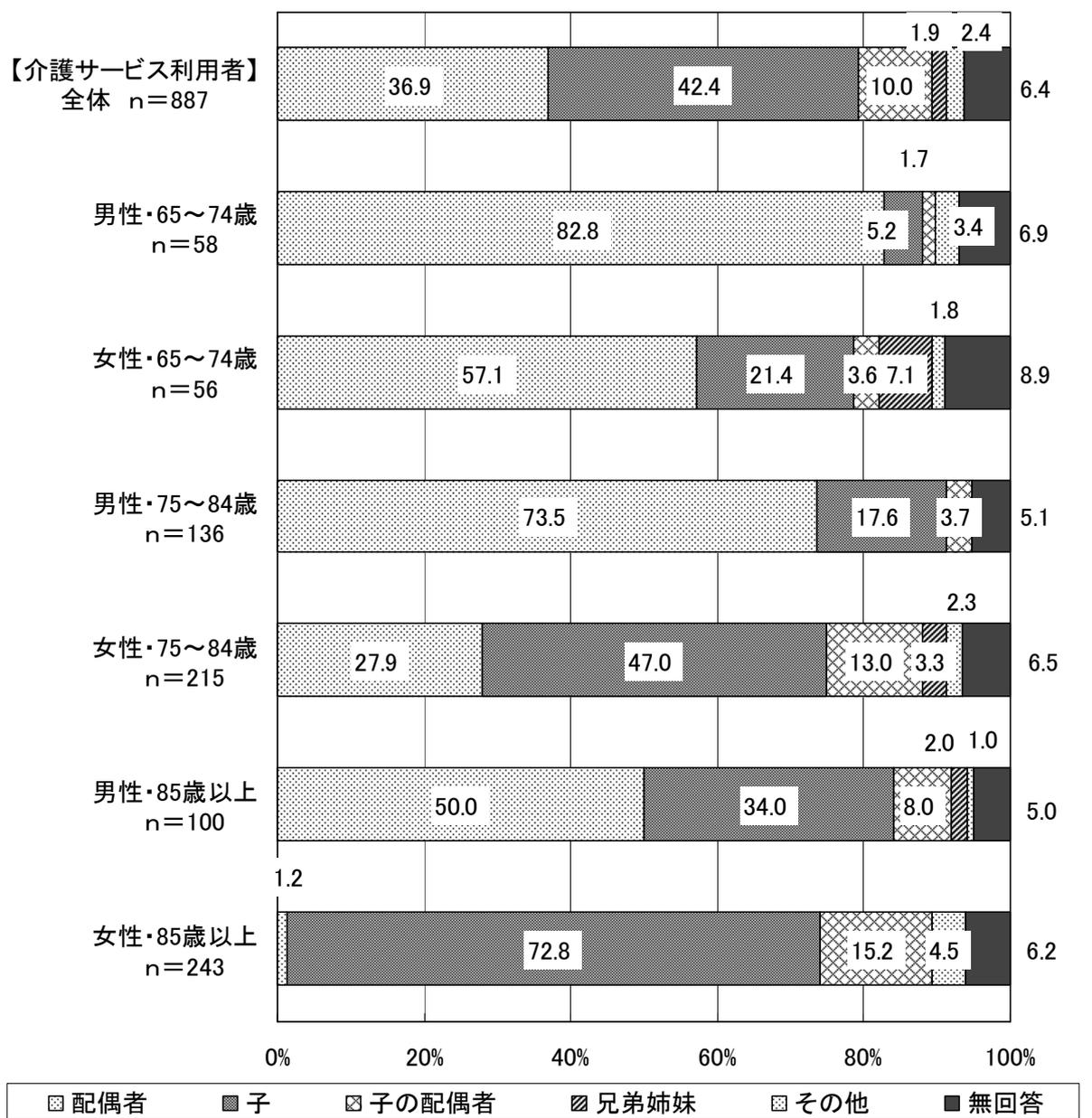


図表 109 家族介護者の人数 (数量回答)

### (3) 主たる介護者の属性

ア. 介護サービス利用者の主たる介護家族者の続柄をみると「子」が4割強、「配偶者」が4割弱となっている。

イ. 男女・年齢区分別にみると、男性では「配偶者」の割合が高く、65～74歳では8割強、85歳以上では5割となっている。女性では「子」の割合が高く、75～84歳では5割弱、85歳以上では7割強となっている。

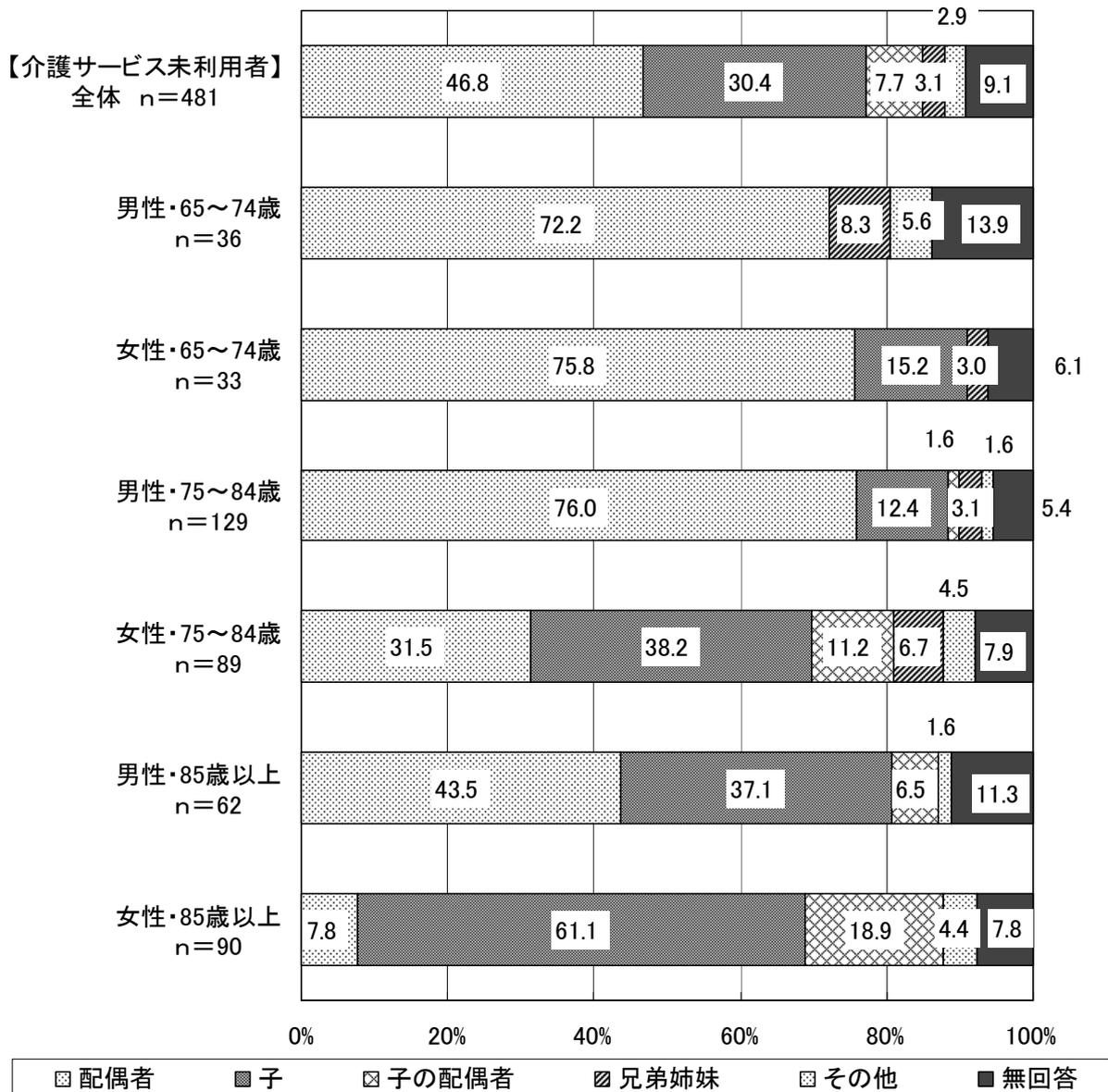


※0.0%は非表示

図表 110 男女・年齢区分別主たる介護者の続柄／介護サービス利用者 (単数回答)

ウ. 介護サービス未利用者の主たる介護家族者の続柄をみると、介護サービス利用者よりも「配偶者」の割合が高く5割弱となっている。

エ. 女性・85歳以上では、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「子」に次いで「子の配偶者」が多く、それぞれ2割弱となっている。



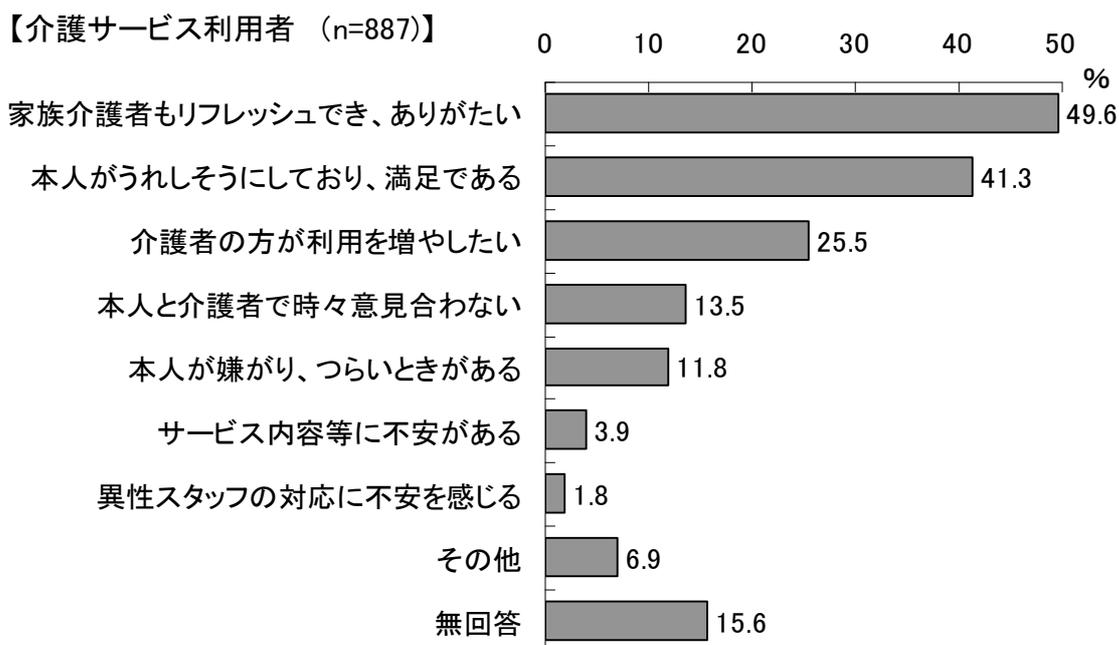
※0.0%は非表示

図表 111 男女・年齢区分別主たる介護者の続柄／介護サービス未利用者（単数回答）

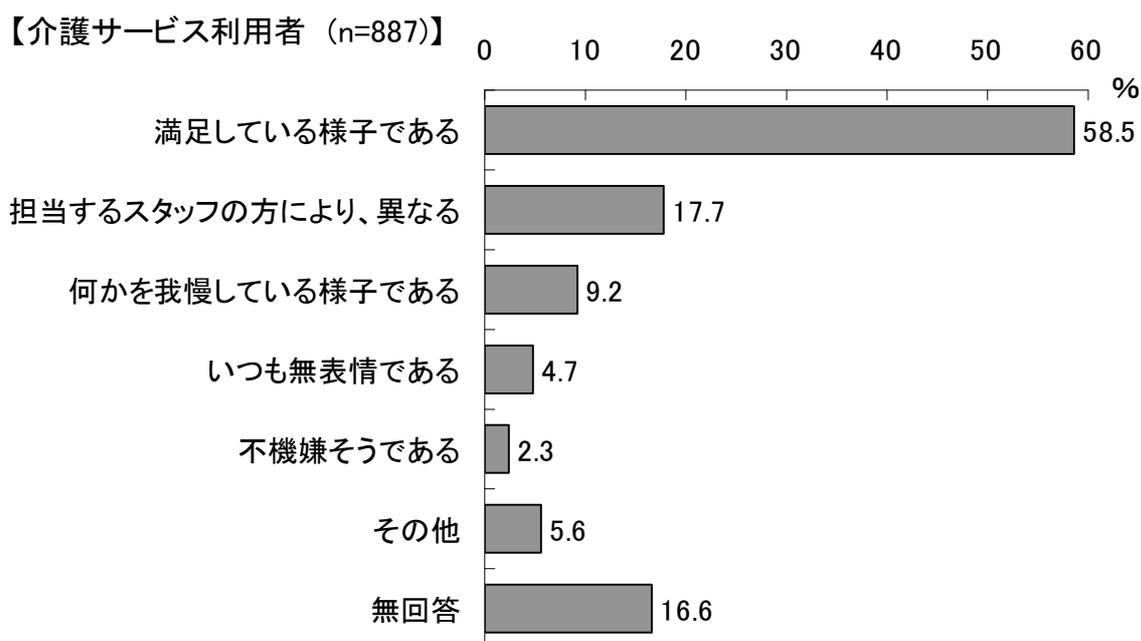
#### (4) 家族介護者からみた本人の様子（家族介護者が回答）

ア. 本人が介護サービスを利用している時に、家族介護者が感じていることについてみると、「家族介護者もリフレッシュでき、ありがたい」が5割弱と多い。次いで「本人がうれしそうにしており、満足である」が4割強となっている。

イ. 介護サービス利用時の本人の様子をみると、「満足している様子である」が最も多く、6割弱となっている。



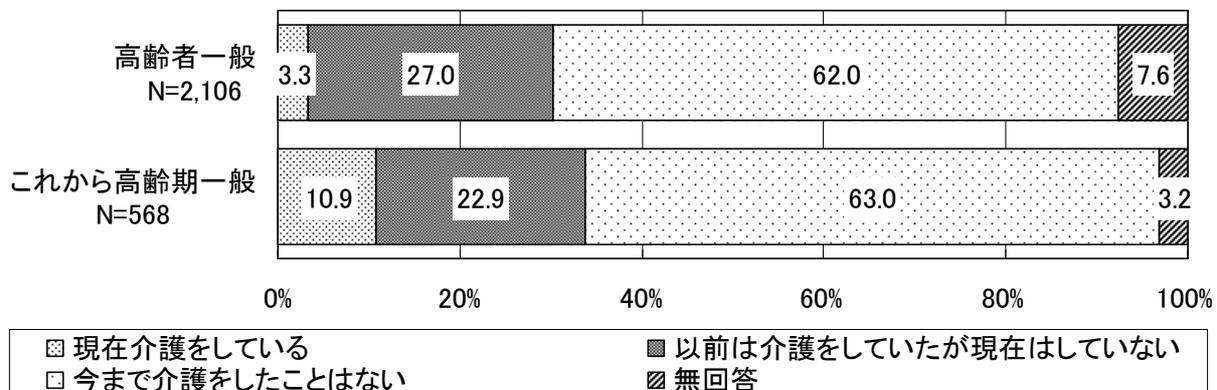
図表 112 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方／介護サービス利用者（複数回答）



図表 113 介護サービス利用時の本人の様子／介護サービス利用者（複数回答）

## (5) 介護経験の有無

ア. 高齢者の介護経験については、高齢者一般、これから高齢期一般ともに6割強が「今まで介護をしたことはない」と回答している。



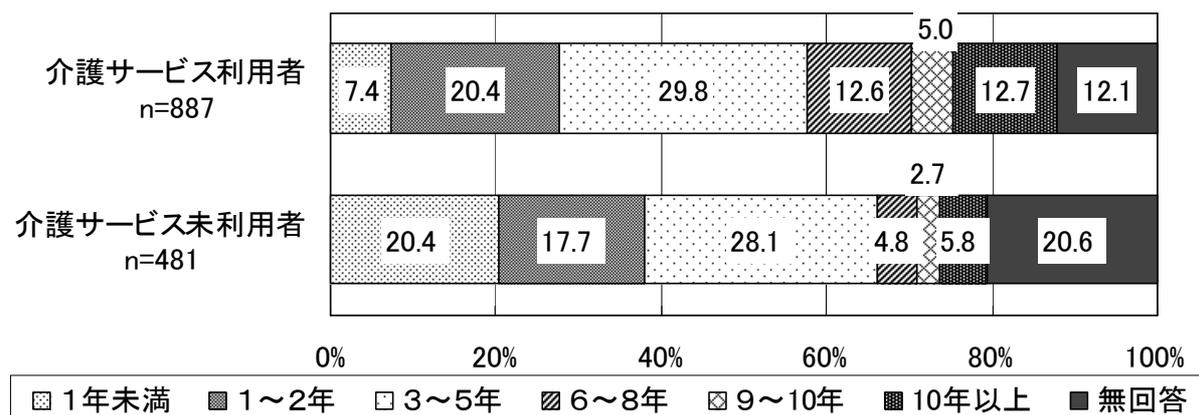
図表 114 介護経験の有無 (単数回答)

## (6) 介護年数（家族介護者が回答）

ア. 介護年数は、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに「3～5年」が3割弱と最も多い。

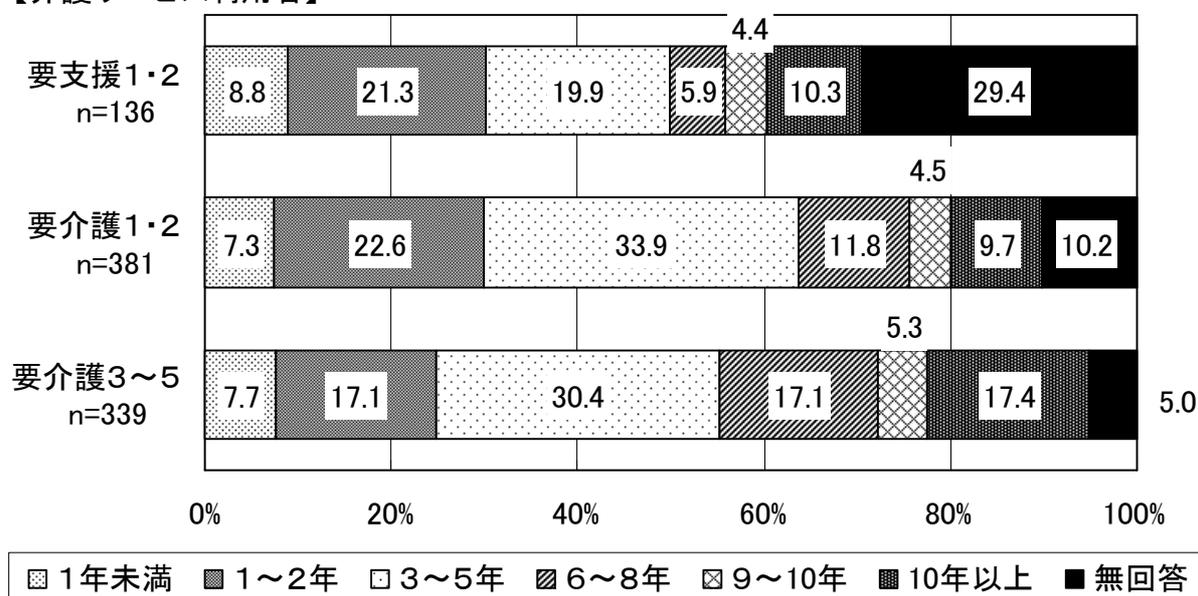
イ. 介護サービス未利用者は「1年未満」が2割強と、介護サービス利用者よりも介護をはじめて間もない家族が多い。

ウ. 介護サービス利用者の要介護度別に介護年数をみると、要介護3～5では他の要介護度に比べ「10年以上」の割合が多い。



図表 115 介護年数（単数回答）

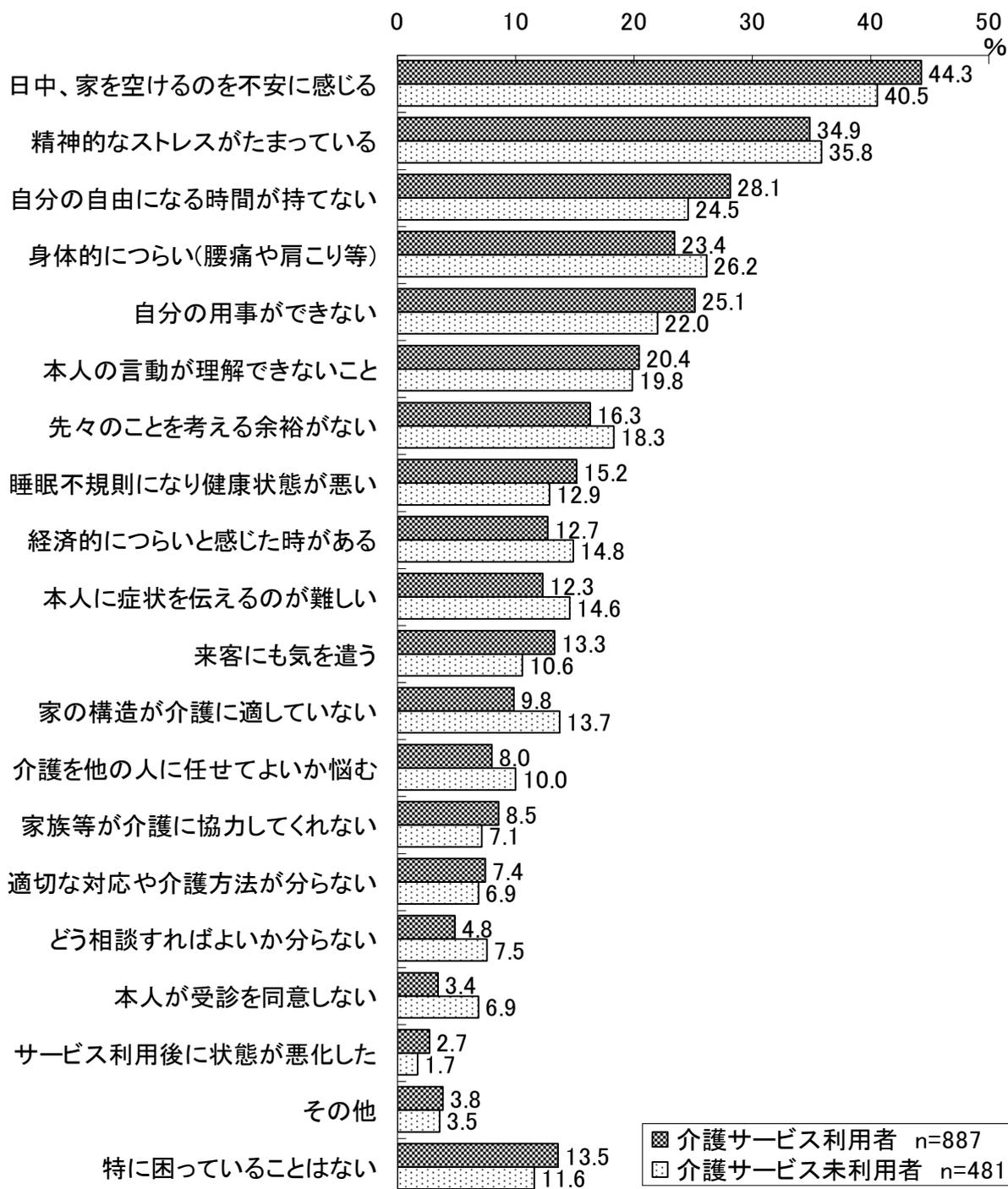
### 【介護サービス利用者】



図表 116 要介護度別介護年数／介護サービス利用者（単数回答）

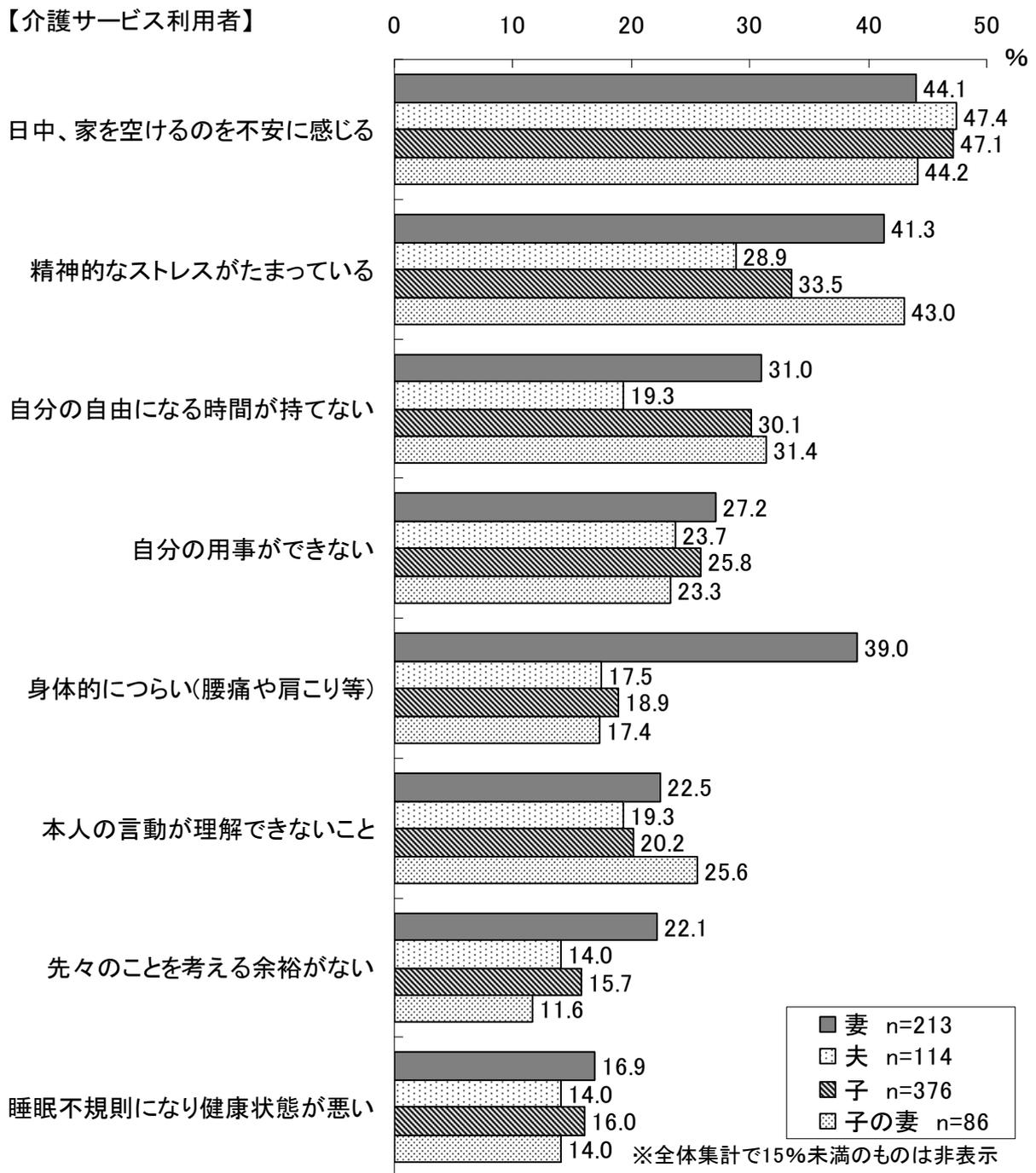
## (7) 家族介護の負担や困り事 (家族介護者が回答)

ア. 在宅介護で家族介護者が困っている・負担に感じている事についてみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者とも、「日中、家を空けるのを不安に感じる」「精神的なストレスがたまっている」の割合が高くなっている。



図表 117 主たる家族介護者からみた困り事 (複数回答)

- イ. 続柄別（妻、夫、子、子の妻）に家族介護者にとっての困り事をみると、「日中、家を空けるのを不安に感じる」の割合が5割弱と高い。
- ウ. 「夫」は他の続柄に比較して、「精神的なストレスがたまっている」「自分の自由になる時間が持てない」と回答する割合が低い。
- エ. 「妻」は他の続柄に比較して、「身体的につらい（腰痛や肩こり等）」と回答する割合が高い。

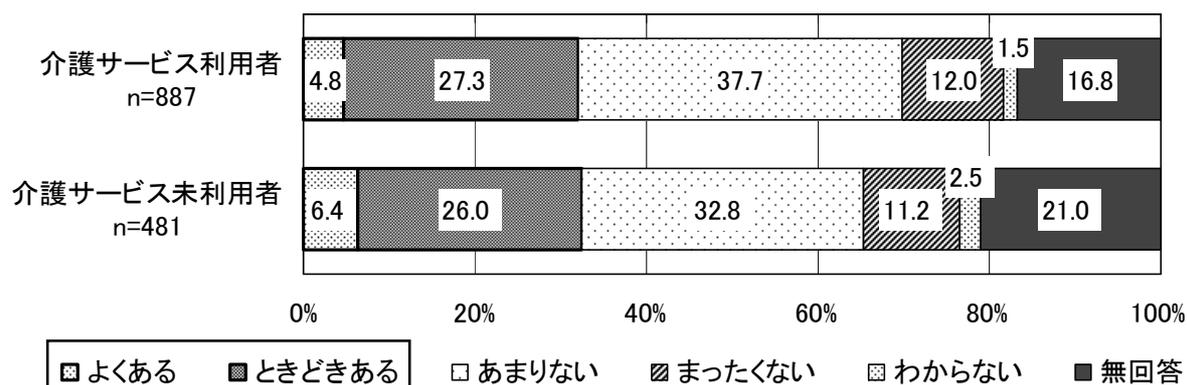


図表 118 介護者の属性×主たる家族介護者からみた困り事（複数回答）

## (8) 介護しているときに高齢者にあたってしまった経験

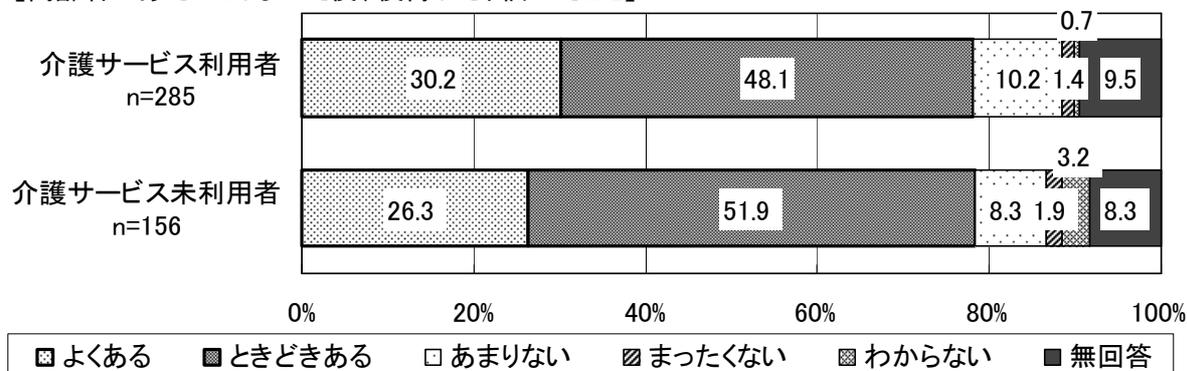
ア. 介護中高齢者にあたってしまった割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに、3割強となっている。

イ. また、『あたってしまったことがある』人（「よくある」「ときどきある」の合計）と回答した方のうち、後悔したり悩んだことがある割合（「よくある」「ときどきある」の合計）は、介護サービス利用者、介護サービス未利用者ともに、8割弱を占めている。



図表 119 高齢者にあたってしまった経験（単数回答）

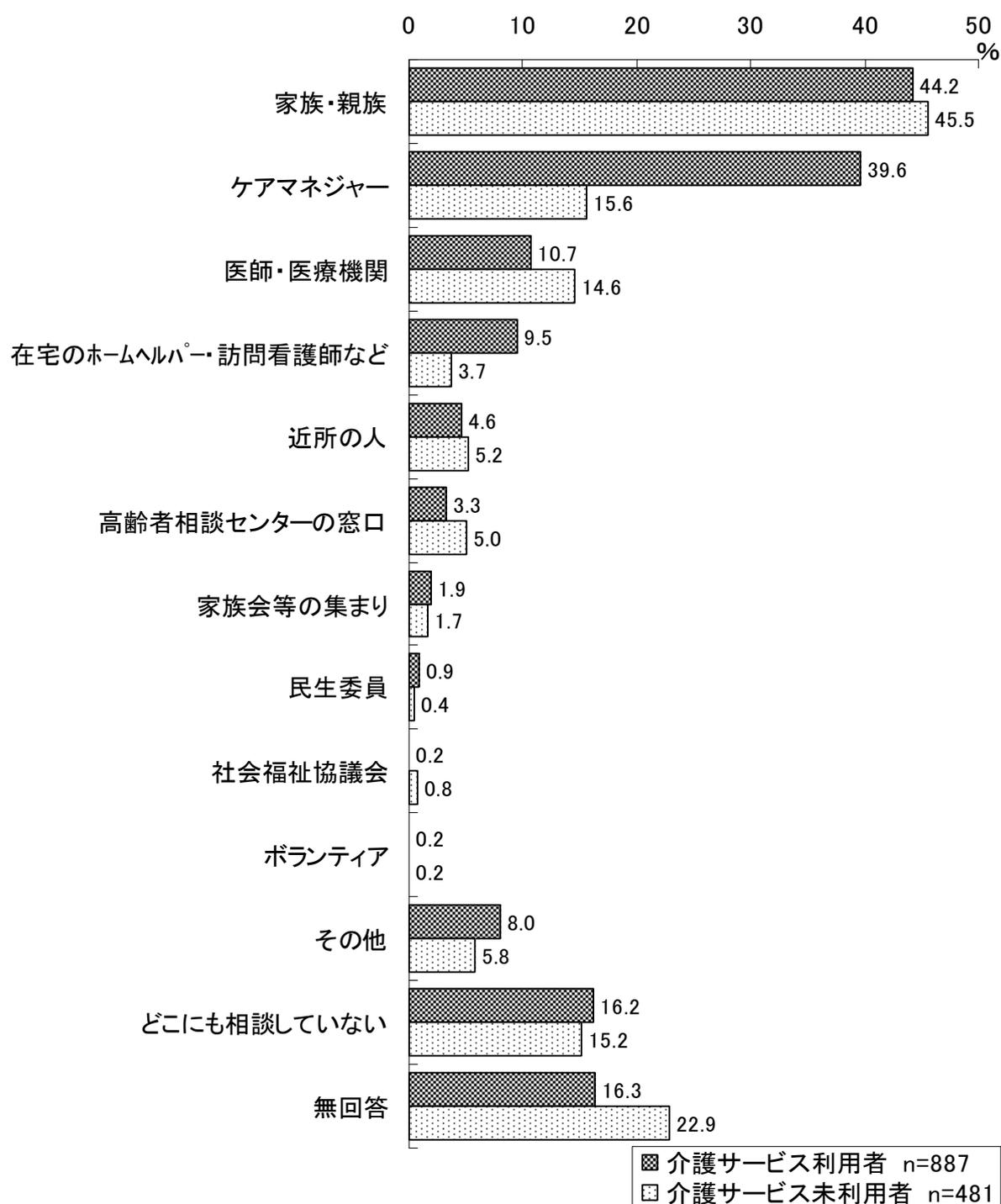
【高齢者にあたってしまった後、後悔したり悩んだこと】



図表 120 あたってしまった後、後悔したり悩んだ経験（単数回答）

## (9) 介護をされていてつらい時の相談先（家族介護者が回答）

- ア. 相談相手は「家族・親族」が最も多く、おおむね5割弱となっている。次いで、介護サービス利用者では「ケアマネジャー」が4割弱となっている。
- イ. このほか、「医師・医療機関」、「在宅のホームヘルパー、訪問看護師など」が高い傾向を示している。
- ウ. 一方、「どこにも相談していない」と回答する割合が2割弱となっている。

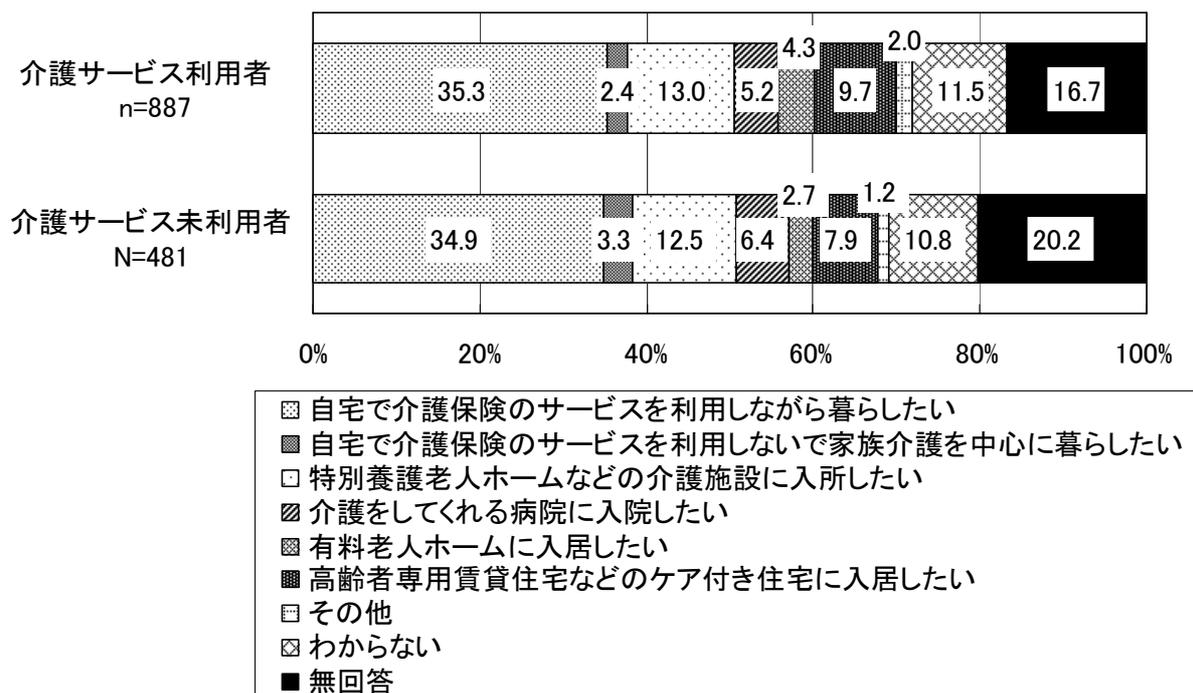


図表 121 介護をされていてつらい時の相談先（複数回答）

## (10) 家族介護者が将来希望する自身の介護(家族介護者が回答)

ア. 家族介護者が将来、介護を受けることになった場合、希望する介護についてみると、介護サービス利用者、介護サービス未利用者とも「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が3割強となっている。

これは、高齢者一般、これから高齢期一般が「希望する自身の介護」について、同様の回答をした割合が5割弱であることに比較して低い。



図表 122 希望する介護 (単数回答)